

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第23週の発生動向

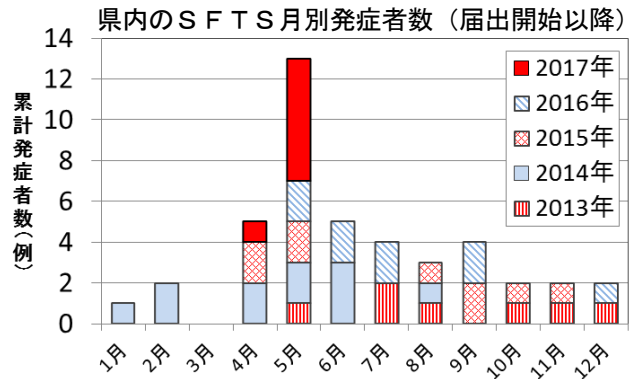
トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が延岡保健所から1例報告があった。県内での報告は今年7例目で、累計43例(平成25年3月届出開始以降)である。患者は60歳代の男性で、発症は5月下旬である。ダニの刺し口はなく、海外渡航歴はない。

県内のSFTS年齢別報告数(届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	13	13	11	2



全数報告の感染症 (23週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：報告なし。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
4類	重症熱性血小板減少症候群	延岡	60歳代	男	—	発熱、下痢、食欲不振、血小板減少、白血球減少

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は740人(定点当たり21.7)で、前週比95%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

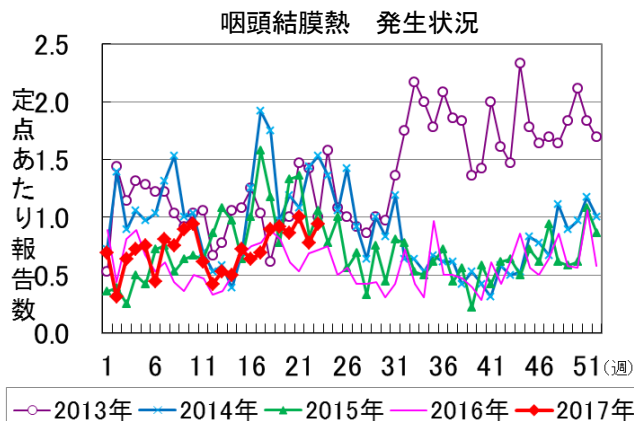
【咽頭結膜熱】

報告数は34人(0.94)で、前週比121%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.0)の約0.9倍である。宮崎市(1.4)、都城、延岡(各1.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約半数を占めた。

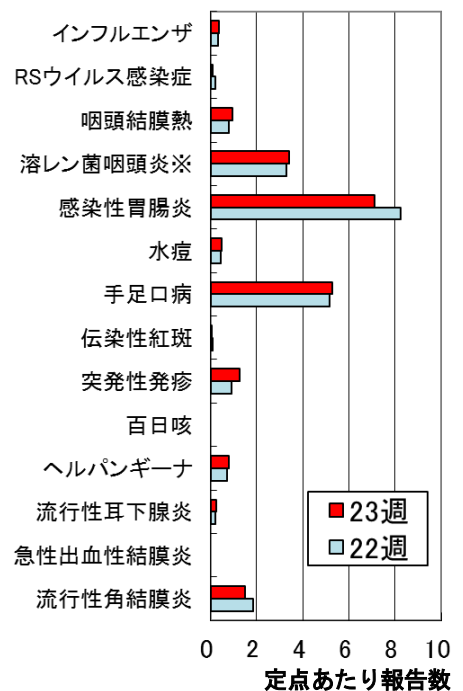
【手足口病】

報告数は190人(5.3)で、前週比102%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約3.4倍である。日向(9.3)、宮崎市(7.1)、都城(6.3)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月~2歳が全体の約8割を占めた。

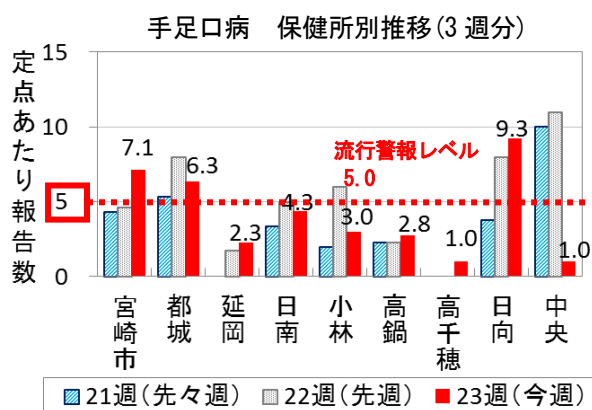
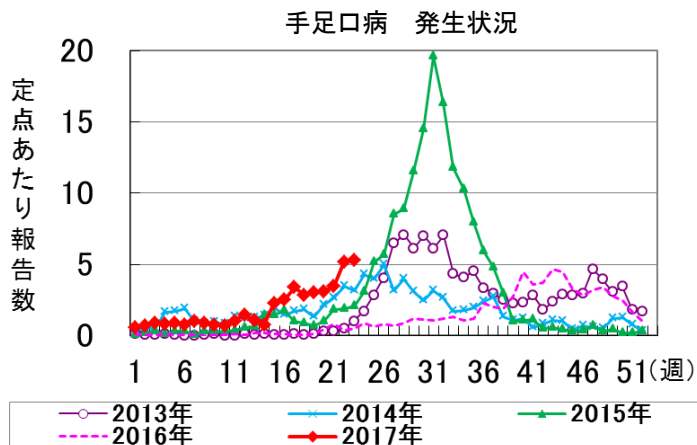
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日向保健所から1例報告があり、10歳代であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(7.1)
都城	手足口病(6.3)
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(9.3)
中央	なし

流行警報レベル開始基準値

・手足口病(5.0)

全国 2017 年第 22 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 22 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	368 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	45 例	パラチフス	1 例
	E型肝炎	4 例	A型肝炎	7 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例
4類感染症	つつが虫病	3 例	デング熱	2 例	日本紅斑熱	17 例
	レジオネラ症	17 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	16 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12 例	急性脳炎	8 例
	クリプトスポリジウム症	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	46 例
	水痘(入院例)	13 例	梅毒	89 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	風しん	4 例	麻しん	2 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 99%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎である。

咽頭結膜熱の報告数は2,996人(0.95)で前週比104%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値*(0.68)の約1.4倍である。山梨県(3.3)、北海道(2.0)、奈良県、鹿児島県(各1.5)からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約6割を占めた。

手足口病の報告数は4,246人(1.3)で前週比138%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.68)の約2.0倍である。佐賀県(6.3)、宮崎県(5.2)、香川県(4.5)からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2017年5月>

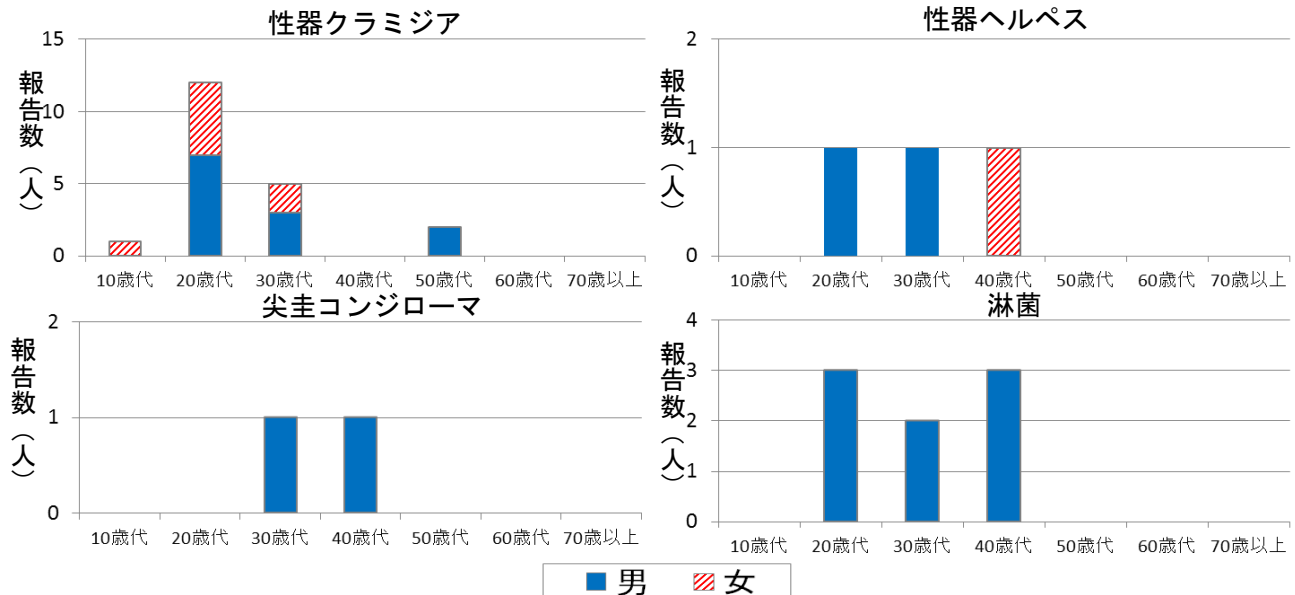
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は33人(2.5)で、前月比138%と増加した。また、昨年5月(2.7)の94%である。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で、前月の約1.3倍、昨年5月の約1.0倍である。20歳代が全体の6割を占めた。(男性12人・女性8人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月及び昨年5月の約0.8倍である。
(男性2人、女性1人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の1.0倍、昨年5月の0.4倍である。(男性2人)
- 淋菌感染症：報告数8人(0.62)で、前月の約2.7倍、昨年5月の1.6倍である。(男性8人)



【全国】 定点医療機関総数：987

定点医療機関からの報告総数は4,157人(4.2)で、前月比115%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,187人(2.2)で前月比117%、性器ヘルペスウイルス感染症845人(0.86)で前月比115%、尖圭コンジローマ493人(0.50)で前月比116%、淋菌感染症632人(0.64)で前月比107%である。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で前月比140%と増加した。また昨年5月(3.6)の約0.8倍である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月の約1.3倍、昨年5月の0.8倍である。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、0～4歳である。
(前月及び昨年5月報告なし。)
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：475

定点医療機関からの報告総数は1,561人(3.3)で、前月比106%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,357人(2.9)で前月比105%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症197人(0.41)で前月比114%、薬剤耐性緑膿菌感染症7人(0.01)で前月比100%である。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第23週(6月5日～6月11日)

疾病名		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	20	22	1	17		4					
	定点あたり	0.34	0.37	0.06	1.70	0.00	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	8	4	1					3			
	定点あたり	0.22	0.11	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	28	34	14	8	5	3	3	1			
	定点あたり	0.78	0.94	1.40	1.33	1.25	1.00	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	119	122	63	5	17	10	2	8	2	10	5
	定点あたり	3.31	3.39	6.30	0.83	4.25	3.33	0.67	2.00	2.00	2.50	5.00
感染性胃腸炎	報告数	297	256	46	50	18	44	31	14	5	46	2
	定点あたり	8.25	7.11	4.60	8.33	4.50	14.67	10.33	3.50	5.00	11.50	2.00
水痘	報告数	16	17		5	3	3	3	1		2	
	定点あたり	0.44	0.47	0.00	0.83	0.75	1.00	1.00	0.25	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	186	190	71	38	9	13	9	11	1	37	1
	定点あたり	5.17	5.28	7.10	6.33	2.25	4.33	3.00	2.75	1.00	9.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	4	2			1		1				
	定点あたり	0.11	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	45	9	10	3	5	7	4		6	1
	定点あたり	0.92	1.25	0.90	1.67	0.75	1.67	2.33	1.00	0.00	1.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	26	29	17	2	1	4		1		4	
	定点あたり	0.72	0.81	1.70	0.33	0.25	1.33	0.00	0.25	0.00	1.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	8	9	2	2	2	1		1		1	
	定点あたり	0.22	0.25	0.20	0.33	0.50	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	9	9								
	定点あたり	1.83	1.50	3.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	4										
	定点あたり	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～23週)

2類感染症	結核	90例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例				
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	7例(1)	つつが虫病	6例
	日本紅斑熱	1例	レジオネラ症	3例		
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	5例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	水痘(入院例)	1例
	梅毒	5例	破傷風	2例	麻疹	1例

()内は今週届出分、再掲